

平成 30 年度 コミュニケーションチームの活動状況について

(1) 検討会議の開催

【第 3 回検討会議】

日 時 平成30年9月13日（木）18：00～20：00
場 所 かながわ県民センター 12階第 1 会議室
出席委員 相川 委員、小笠原 委員、倉橋 委員、高橋(貴) 委員、滝澤 委員、豊田 委員、
西 委員、増田 委員、森本 委員

概 要

第 3 回検討会議（9 月 13 日（木））を開催し、今年度作成する絵本・紙芝居「かながわ しずくちゃんと森のなかまたち」と、施策紹介展示パネルの内容について検討を行った。

1 絵本・紙芝居「かながわ しずくちゃんと森のなかまたち」について

絵本・紙芝居の下絵原稿と巻末コラム、文章の内容について、原画作成担当者と検討を行った。検討結果は別紙 1 参照。

また、制作物の配布箇所について、あらかじめ予定していた配布先（県内小学校、県内公共図書館）に加え、効果的な配布先の検討を行った（別紙 2 参照）。

2 新規作成施策紹介展示パネルについて

現在作成している「水源環境保全税」、「森」、「川」、「シカ」をテーマとした新たな施策紹介展示パネルについて、前回検討会議の検討結果（各パネルのテーマごとにイメージカラーを定める、それぞれ統一性を持たせたデザインで施策の内容を易しく紹介するものを作成するなど）を反映したパネル案のデザインや文章の最終調整を行った。

完成した新規作成パネル 4 種は、別紙 3 参照。

(2) 県民フォーラム（もり・みずカフェ）の運営参加

県民フォーラムチームと連携して、第 40 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（平成 30 年 8 月 5 日（日）開催）の運営にチームメンバー 2 名、第 41 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（平成 30 年 9 月 22 日（土）開催）の運営にチームメンバー 2 名が参加し、水源環境保全・再生に係るこれまでの取組についての情報提供や県民意見の収集を行った。

また、第 41 回県民フォーラムにおいては、コミュニケーションチームで作成した施策紹介パネルを展示し、施策の広報を行った。

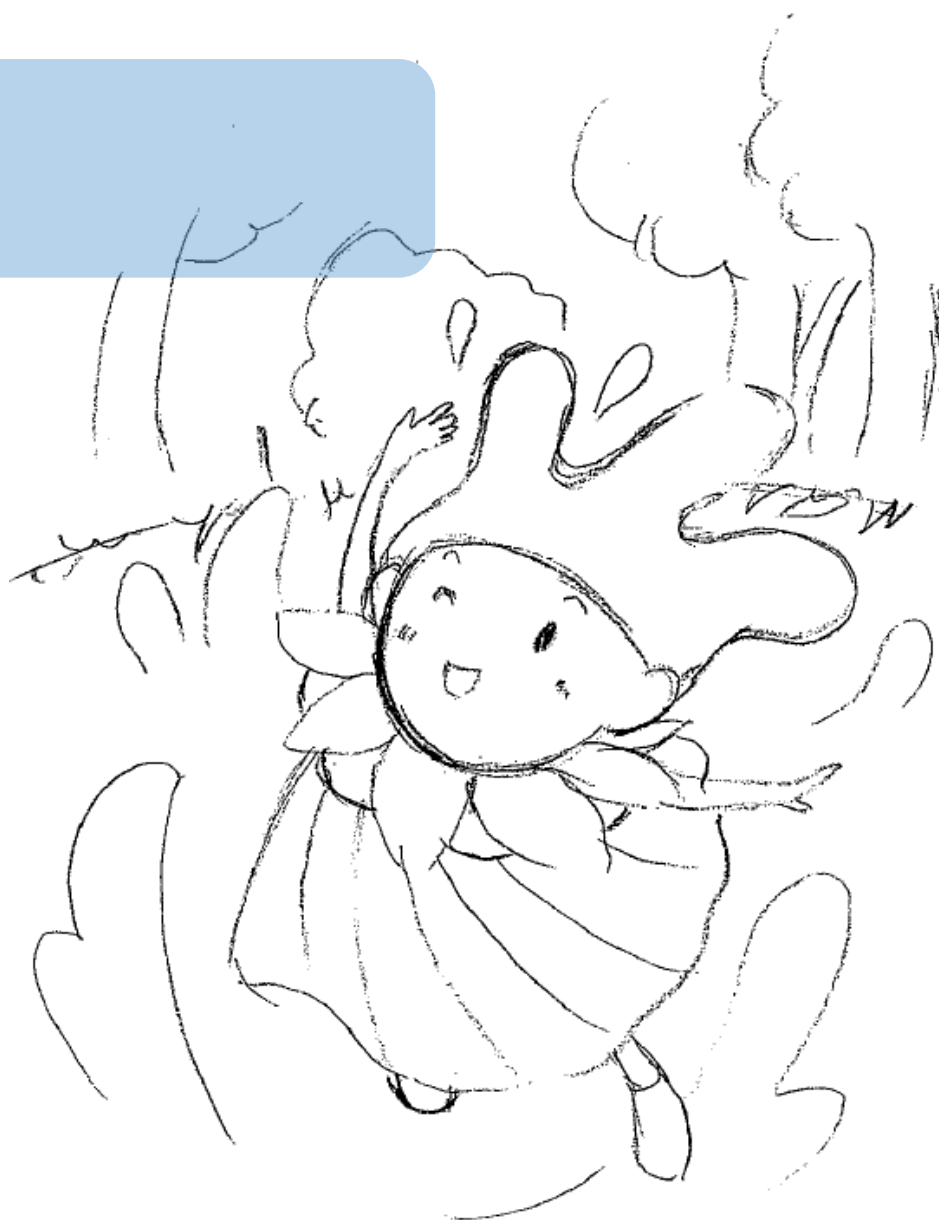
表紙 (カバーも同様)



絵：(ペンネーム)



※題字としずくちゃんイラストを組み合わせせて中表紙とする



わたしは かながわの森^{もり}で 生まれ^うた
水^{みず}の妖精^{ようせい} しずくちゃん。



【修正案】

きょうは とても良い天気。

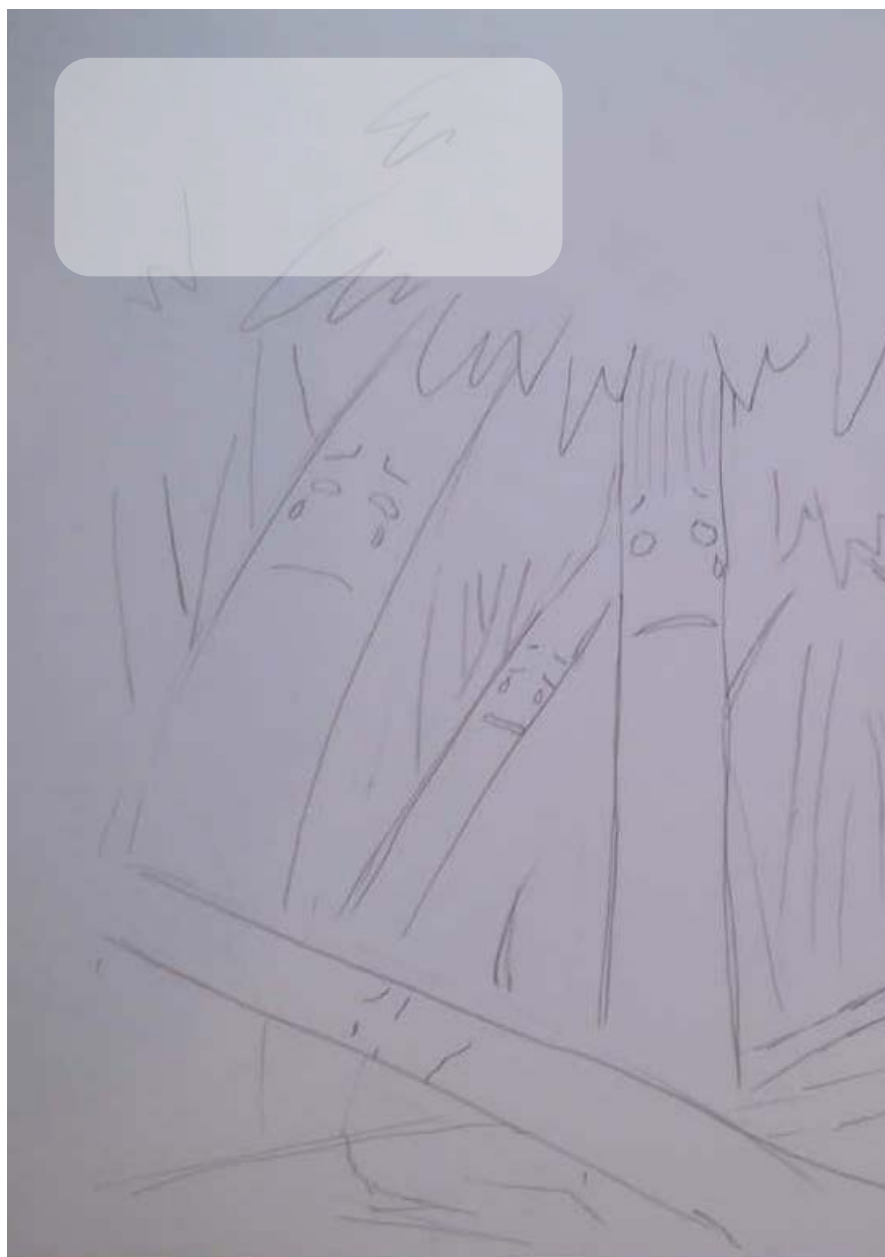
お空をとんで 森をお散歩 しようかな。

森のなかまたちが しずくちゃんに 声をかけます。

しずくちゃん おはよう！

おはよう！ みんな げんき？

場面2 暗い森で泣いている木



あれれ 森のおくへ 行ってみると
どんだん まわりが 暗くなってきたよ。
鳥さんや 虫さんたちも
こわくて ここには いないみたい。



暗^{くら}い森^{もり}の中^{なか}で、悲^{かな}しそうに
泣^ないている木^きたち^あに会^あいました。
みんな どうしたの？

場面3 木が泣いている理由を話す



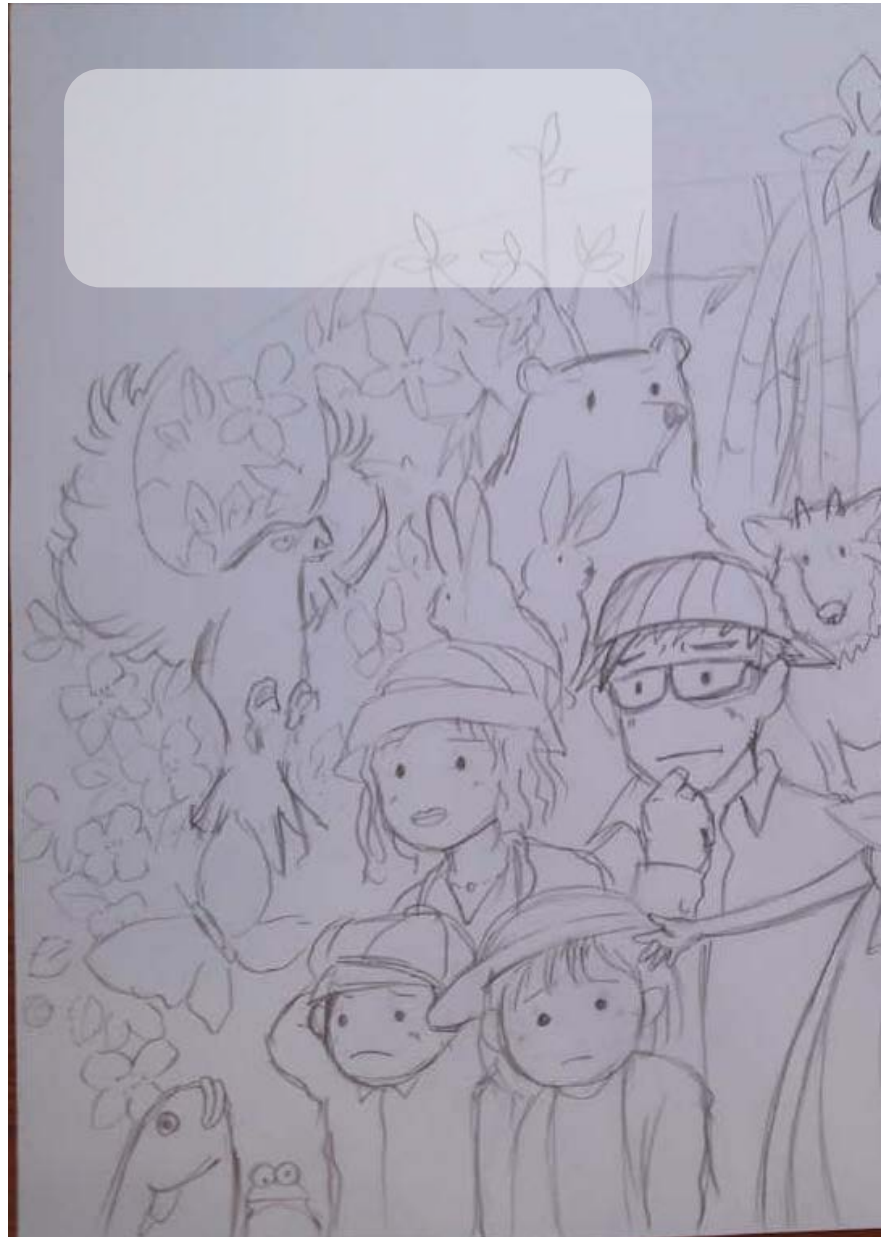
あのね、しずくちゃん お日さまの光が
森の中まで届かなくて 草が育たないんだ。
雨が降ると 地面の土がながされて、
ぼくたち上手に立てないんだよ。



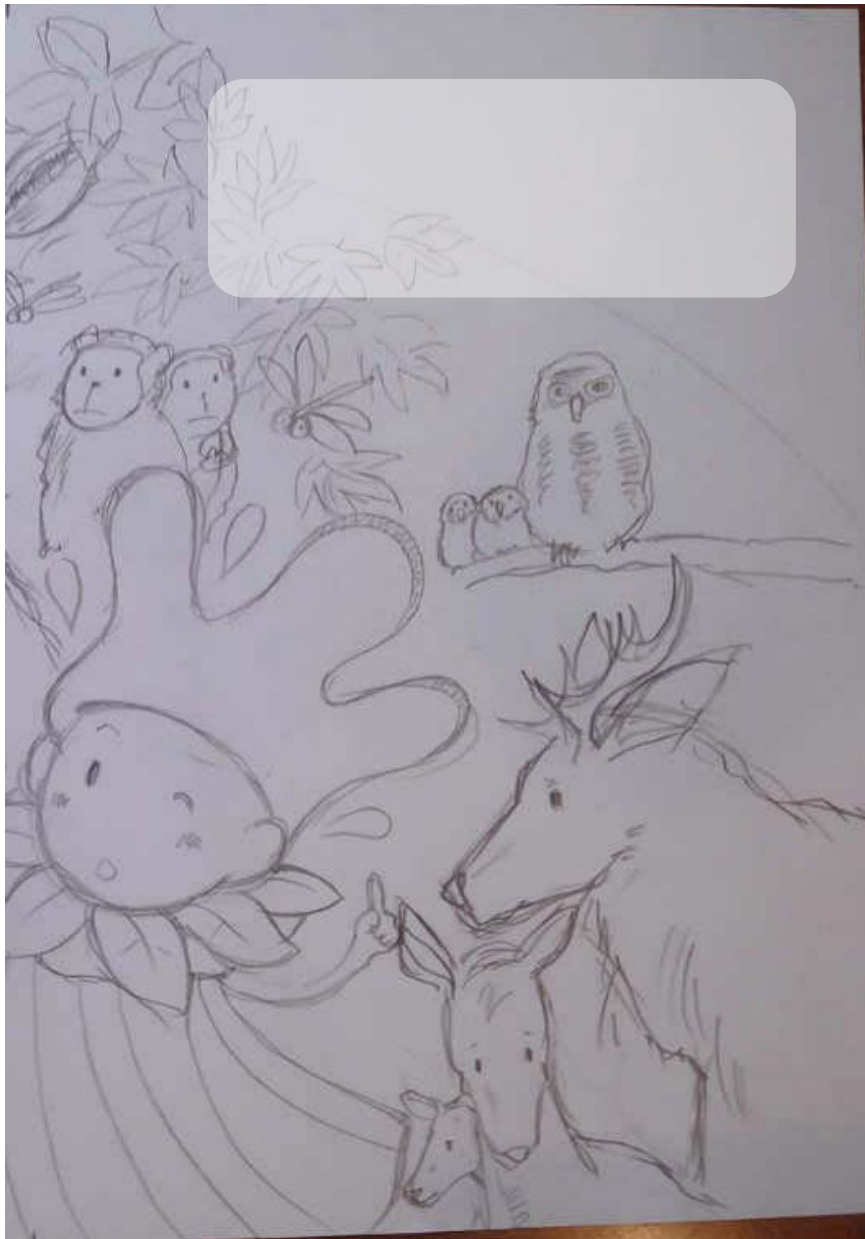
残^{のこ}っている草^{くさ}も、食^くいしん坊^{ぼう}のシカさんたちが
ど^たんどん 食^たべてしまうの

暗^{くら}いし 食^たべ物^{もの}もないから、おともだちが み
んな いなくな^なってしま^まったよ。

場面4 みんなで、木を助けるために相談する

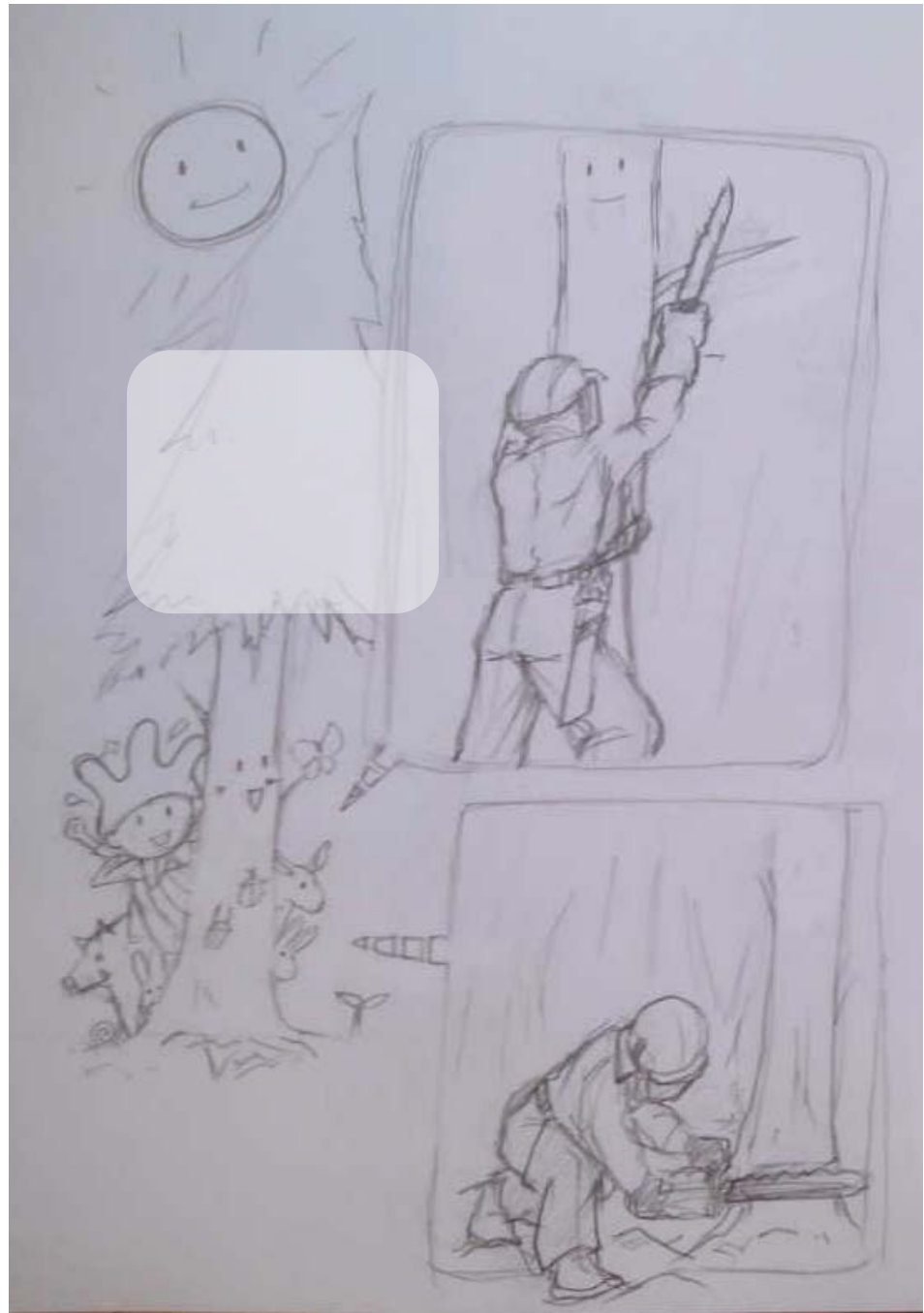


それは たいへん！
森の木たちを 助けてあげるには
どうしたら 良いんだろう？

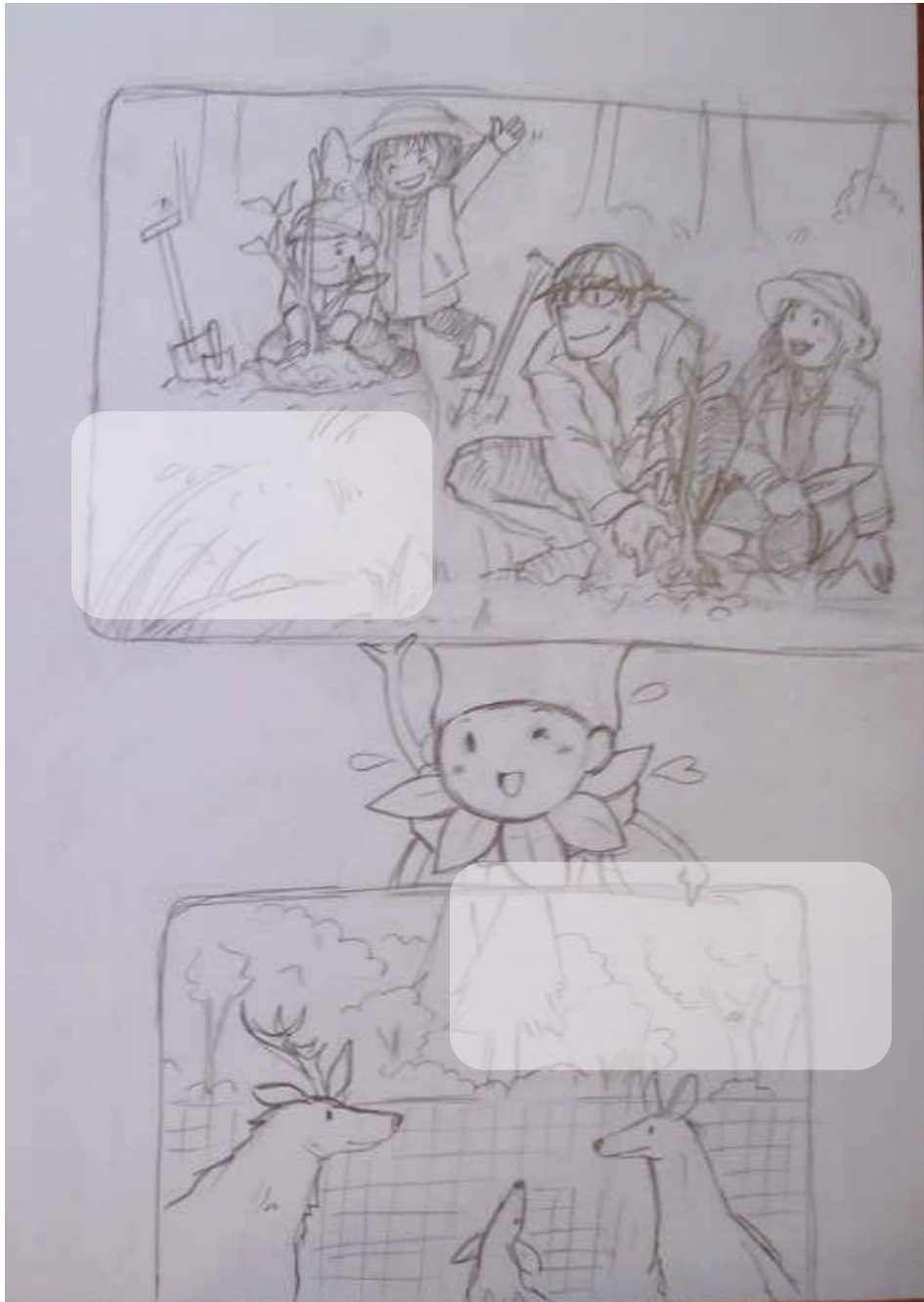


みんなで集まって、
どうしたら良いか、考えてみよう！

場面5 対策をみんなで行う



もり なか ひ ひかり とど
森の中まで お日さまの光が 届くように
あいだの木をきったり 枝をはらってみたよ。



動物や いきものたちが楽しく 生活できるように、
みんなで 木を 植えたよ。

柵をつくって、シカさんと 柵の中の草は、食べないお約束をしたよ。

場面6 豊かになった森、喜ぶ森のなかまたち



わあステキ！みんなの力^{ちから}で、
こんなに豊^{ゆた}かな森^{もり}になったよ！
木^きや 森^{もり}にすむ生き物^いたちも うれしそう。



これからも、みんなでわたしたちの森を
守っていきましょうね！

おわり

おわりに・・・

森は、雨水を土の中にたくわえ、きれいにし、
少しずつ川に流れ出すようにするはたらきがあります。

また、水源の森を守り育てることで、
質の高いおいしい水が生まれます。

私たちの飲み水は、森によって生まれ、
安定して供給されているのです。

その水のふるさとである水源環境を守るために、
神奈川県ではしずくちゃんたちが行動したような、
さまざまな取組を行っています。

このほかに、森には
「家や紙などの材料になる木を育てる」
「山くずれや洪水を防ぐ」
「いろいろな生き物のすみかになる」
「すてきな景色を楽しませてくれる」
などの役割もあります。

森を守ることは、さまざまな面で
私たちの生活を豊かにし、守ることにつながるのです。

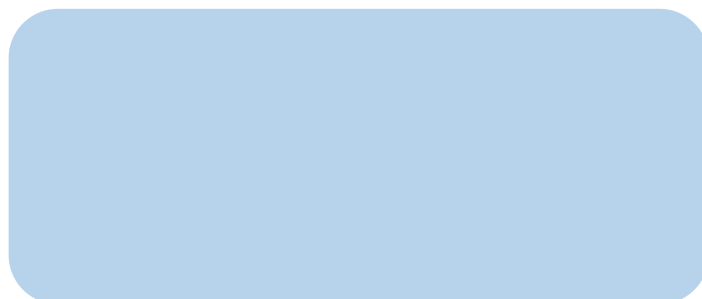


かながわの水を育む水源環境を守るために、平成 19 年度から県民の皆さまに「水源環境保全税（個人県民税の超過課税）」という、特別な負担をお願いしています。神奈川県では、県民の皆さまからいただいた「水源環境保全税」をもとに、森や水を守る取組を進めています。

問合せ先
神奈川県環境農政局緑政部 水源環境保全課
Tel 045-210-4352 Fax 045-210-8855



裏表紙（カバー含む）



はっこう すいげんかんきょうほ ぜん さいせい けんみんかいぎ
発行：水源環境保全・再生かながわ県民会議

すいげんかんきょうほ ぜん さいせい とりくみ ひろ けんみん いけん
水源環境保全・再生の取組について、広く県民の皆さまの意見を
はんえい すす ゆうしきしゃ かんけいだんたい こうほいいん
反映しながら進めていくために、有識者・関係団体・公募委員で
こうせい そしき
構成された組織です。

紙芝居・絵本の配布先について

1 絵本・紙芝居の読者対象

小学校低学年（2年生）以上の児童生徒

※平成30年度コミュニケーションチーム第1回検討会議にて検討の上、決定

2 配布先について

平成30年度は、県内公立・私立小学校や県内公共図書館のうち、希望する施設に配布を行い、参考図書として配架、読み聞かせ教室などでの活用を依頼する。

また、神奈川県が実施している県産木材を使用する木造施設の整備に対する支援（森林再生課所管）を受けて施設を木造化（内装木質化も含む）した施設については、環境・森林などに関する意識が高いため、積極的に活用を依頼する。

No.	部数	施設
1	902部	県内公立小学校 854校、特別支援学校 48校（県立28校、私立16校、国立2校）
2	33部	県内私立小学校 31校、特別支援学校 2校
3	74部	県内公共図書館 74館
4	40部	木造公共施設等整備事業で木造化（内装木質化）した施設 40箇所（※対象年齢外の保育園や幼稚園、高校等への送付については、要検討。）
5	51部	その他関係各所、水源環境保全課内在庫
合計	1100部	

3 配布時期

平成30年12月～平成31年1月予定

かながわの森と水を支えるために

水源の森を守ることは、さまざまな面で私たちの生活を豊かにしてくれています。

森は…

◎ 雨水を土の中にたくわえ、きれいにし、
少しずつ川に流れ出すようにするはたらきがあります。

◎ 質の高いおいしい水を育みます。

◎ 山くずれや洪水を防ぎます。

◎ 家や紙などの材料になる木を育てます。

◎ いろいろな生き物のすみかになります。

◎ 自然のすてきな景色を楽しませてくれます。



そうした水源環境を守るために、県民のみなさまに

「水源環境保全税」(個人県民税の超過課税)

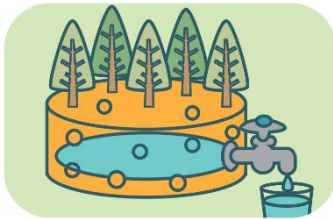
という特別なご負担をお願いしています。

- 納税者一人当たりの平均負担額は? …… 年額 約890 円
- 適用期間は? …… 平成 29 年度から 5 年間
- 税収規模は? …… 年額 約40 億円

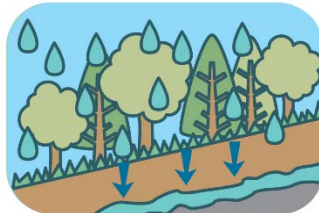
ゆた すいげん 豊かな水源の森をめざして



森は、人が造ったダムと同じようなはたらきをすることから『緑のダム』とも呼ばれているよ♪



● 森は水を貯えます
土の中の細かいすき間がスポンジのように雨水を貯え、日照りに関係なく少しずつ川へ流します。



● 森は水をきれいにします
雨水が土や岩のすき間を通る時にごみを取り除かれ、岩の成分が溶け込み、おいしい水になります。



● 森は山くずれを防ぎます。
木々が雨から地面の土を守り、太い根や細い根ををはることで、山くずれや落石を防ぎます。



かんきょう 環境を整えて光あふれる豊かな森へ



間伐



枝打ち

手入れが行き届かずに荒れてしまった森で間伐や枝打ちを行い、太陽の光を地面まで届かせて、下草が良く茂り、土がしっかりと保たれた豊かな森に再生しているよ！

ほかにも、雨で土が流れてしまわないように、柵を作ったりもしているの♪

かんばつ 間伐：混み合った木の本数を減らすこと

えだう 枝打ち：余分な枝を落とすこと

どじょうりゅうしほつぼうしせき 土壌流出防止柵：土が流れないようにせき止めるための柵



土壌流出防止柵



整備後 下草が生長した様子→

きよ すいげん 清らかな水源をめざして



かんきょう しぜんじょうかきのう はつき 水辺環境を整えて自然浄化機能を発揮！

自然豊かな川では、さまざまな川の
流れの状態や、そこに生息する生き物
たちの力によって、水をきれいにする
ことができるよ♪

その力を十分に発揮できるように、
県では、市町村が行う地域の川を自然
豊かにするための取組を支援してい
るの。たとえば、瀬や落差をつくって
水の中に酸素を入れた

り、淵のように生き物が
棲める場所をつくって
いるよ！



瀬：流れが速いところ
淵：水深が深く流れがゆるやかな
ところ
落差：段差があり水が落ちると
ころ



↑コンクリートで固められた直線水路
石や土砂がなく、自然に生み出さ
れる流速や川幅・水深の変化も生ま
れないため、川の生き物たちも棲み
にくい



↑整備により、自然の豊かさを取り戻した川



はいすい 生活から出る排水をきれいにしています

みんなの家から出る排水で
川やダム湖の水を汚さないよ
うに、下水道や排水をきれい
にする施設の整備を支援して
いるよ♪



↑生活排水がそのまま川やダム湖に流れ込むと、栄養分
が増えすぎてアオコ(水道水のカビ臭の原因)が発生
することも。



きょうせい

人と森とシカの共生をめざして



シカさんは、昔は明るく開けた平野部を中心に棲んでいたけれど、人々の生活の場所が広がり、どんどん山の方に棲むようになっていったよ。

でも、シカさんが山で増えて草を食べすぎてしまうと、地面から草がなくなり、森が水を貯える機能が十分に発揮できなくなってしまうの。



さまざまな取組を進めています！



植生保護柵



単木保護ネット

みてみて！豊かな森を守るために、柵で囲ったりネットを巻いて、下草や木を保護しているよ。

シカさんの数や棲んでいる場所を調査したり、捕獲したりする専門の人も活躍しているんだって！



↑ ワイルドライフレンジャー

こうした取組のおかげで、植生が回復し、水を育む豊かな森は守られているよ♪

植生保護柵：下草の生育を守るために森の一部を囲っている柵
単木保護ネット：樹皮がはがされないように幹に巻くネット
ワイルドライフレンジャー：シカの管理捕獲に専門的に携わるハンター